

VFR1200F Dual Clutch Transmission の快適性

VFR1200F Dual Clutch Transmission には、タンデムツーリングも含めた快適性が考慮されています。シフトチェンジ時に駆動力抜けの発生しない Dual Clutch Transmission は、タンデム走行時、シフトチェンジによってパッセンジャーのヘルメットが前後に揺さぶられることがなく、ライダーのヘルメットとコツコツ当たる様なことはありません。この、シフトショックのない素早いシフトチェンジは、下記の制御技術により実現しました。

達成手法

- 電子制御による加減速／巡航コントロール
- 電子制御による発進／極低速コントロール

電子制御による加減速／巡航コントロール

加速、巡航、減速それぞれの状態でのシフトアップ / ダウンに応じて最適なクラッチ接続パターンを選択します。さらに、ECU が走行中のエンジン出力、回転数を常時モニターしながら、その結果をもとに、変速中のクラッチの伝達トルクをリアルタイムで最適値に制御することで、変速前後の加速力をスムーズにつなげます。

電子制御による発進／極低速コントロール

発進時はスロットル開度に応じてクラッチ伝達トルクを制御しており、ライダーはスロットルの操作だけで発進の力強さを自在にコントロールすることが出来ます。また、減速時には、停止直前までハーフクラッチの状態にクラッチを制御することで、極低速での車体取り扱い性を向上させました。これにより、渋滞路などの走行でもライダーへの負担が少なく、Uターンも安心して行うことが可能になりました。

●電子制御イメージ

